

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
①	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	「地域から信頼され、共に生活を営み楽しむ」という理念を掲げ運営している。認知症カフェを通して実践している。			・職員全体でカフェに参加され、事業所として取り組んでいるのは良いことと思う。 ・認知症カフェや防災訓練の参加など、地域連携を意識して取り組んでおられると思う。
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域行事(クリーン作戦・地域の研修会)や認知症カフェに積極的に参加して交流している。	・認知症カフェにはどのように参加されているのか？・地域の人の認知症への理解は進んでいますか？・2～4項目において、認知症カフェに出席された皆さんの反応はどうですか？外出を楽しめるイベントの一つになればと思います。		・感染対策をしながらたきかきカフェで地域の方と交流されていた。 ・通信で参加・交流が知らされており、積極的に交流されていることがわかる。
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	運営報告後、出席者から情報収集をしている。身体拘束適正化、認知症カフェの運営についてもアドバイス等を求めている。			・運営推進会議で課題を挙げ、質問や意見をよく聞いて下さっていると感じた。 ・包みかくさず、できる事が報告され、個人の尊厳と安全のバランスに悩みながらも工夫されていることがよくわかる。委員の聴取もされていた。
4	市町村との連携	市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市主催の会議、認知症カフェ、事故報告、運営推進会議を通して協力関係を築くよう取り組んでいる。			・意見を出しやすい雰囲気と包容的に話をきいていただき、よい協力関係を作られている。
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回、事業所内外での研修などに積極的に参加している。夜間を除き玄関の施錠はしていない。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・再確認・振返りの場として、今後も継続して取り組んでいただきたい。 ・研修を実施されている。 ・利用者に対し、温かな人間関係を築いた上で安全配慮もされていると感じる。
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内外での研修を通し再確認している。ストレスチェックや面談を通してストレスを溜めないように努めている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできる(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・中途採用職員や研修不参加の職員にも研修内容の周知をお願いしたい。 ・気持ちのコントロールが難しい場面も生じると思いますが、職員同士のコミュニケーションやストレスチェック等で上手く向き合い、良いケアに努めてください。 ・職員間でささいなことでも、情報交換・共有しようとしていた。その中で対話は、時間的に難しくても工夫されていると感じた。
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	制度利用者はいないが、過去の経験を活かしている。事業所にはパンフレットを置き啓発に努めている。			・独居、高齢者のみの世帯が増える一方なので、いずれは制度利用の必要な方と出会う可能性は有りますね。 ・利用者家族とよい関係を築いておられ、その中で情報を適切に提供されていると推察する。

8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	契約時や改定の際には丁寧に説明をして理解を得るようにしている。改定の際は書面での説明以外にも不明な点がないか尋ねている。			・物価上昇も大きいこの頃ですから、丁寧な説明は必要ですね。
	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	意見苦情の窓口だけでなく、外部評価の公表や家族アンケート、日頃の面会や電話連絡での意見を反映している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家族も意見をしっかりと聞いてもらえることで安心されると思います。 ・以前の運営推進会議の中でも家族の方が満足されている様子が伺えた。
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月のスタッフ会議だけでなく、日常的に意見や提案がしやすい環境をつくるように心がけている。また、職員が管理者を評価するアンケートも実施している。			・風通しの良い環境での仕事が職員のモチベーションにもつながると思います。 ・引継ぎ等、十分な時間をとれなくても、気付いたことをメモするなどの方策が運営推進会議で話題に出た。十分意識されていると思う。
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員個々の就業環境に配慮している。また、得意分野を業務やケアに活かせるようにしている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・職員のやりがい、向上心が利用者のケアにもつながっているため、今後も同取り組みに努めていただきたい。 ・人材確保の観点からも就業環境を整えることは大切ですね。チームワークよくコロナ等発生時もカバーしあって利用者の対応に努めていた。施設内の飾りなどもよい雰囲気を整えられている。
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	キャリアパスを有効に活用しながら、資格の取得への啓発や法人内外の研修への参加を促している。今年度から法人全体でweb研修を取り入れている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・資格取得後に得た知識を職員間で共有できるよう今後も取り組んでいただきたい。 ・働きながら集合型の研修は時間の確保が難しい。Web研修は効率がいいと思う。 ・運営推進会議の中でも研修をもって学び続けておられる話を聞いている。委員が学ばせていただいている。
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会の参加、法人内の交流が徐々に増えてきている。			・ストレスを生じることも仕事の中ではあると思うし、負担追重のないように願っています。
	14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は暮らしの主役は入居者であることを理解し、食事・洗濯・掃除・買物などできることを見極め支援している。		・引き続き、個別性の高い支援をお願いします。行く度に入居者の方が安心して生活をされている姿を見て、適切に自立と介護のバランスのとれた生活をされていることを感じた。

15	馴染みの人や場との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナウイルス感染状況を見極め、自宅への外出、知人宅への訪問、買物などを再開している。	・新型コロナウイルス感染状況を見極める際の具体的な判断基準はありますか？→地域や職員、入居者の健康状態(感染状況)を適切に把握して判断します。		・感染症対策を行いながら、地域の方ともつながりが持てるように努められていると感じる。 ・できる限り外との交流ができるように取り組んでおられる姿や気持ちを感じている。うまく家族と連携をとって進められたらと思う。
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	これまでの生活歴や日常生活での言動、表情からくみ取れるよう努めている。家族や知人からの情報も活かすようにしている。			・声にならない意向は皆で理解できるように丸となって取り組んでください。 ・安心して話したり、部屋から出てくつろいでおられる姿を見て、適切に行われていると思う。
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人や家族から意向を伺い、話し合いの場を設けている。現状に沿った介護計画であるか、ケアマネージャーと連携しスタッフ会議でも検討している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今後も本人、家族含めて、チームで介護計画の作成に取り組んでいただきたい。 ・状態変化に合わせた支援をこれからもお願いします。 ・意見を委員にも求められる等、広く情報を得ようとする姿が見られた。
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個人記録や申し送り、日々の業務の中で情報を共有している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今後も日々の様子から、よりよいケアができるよう情報共有、見直し、実践に取り組んでいただきたい。 ・運営推進会議の報告でも例えば事故の場合、丁寧な検証、分析、対応策をスタッフで考えておられるように見受けられた。
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	受診対応や入退院の送迎、外出時の自宅への送迎、知人との面会のサポートなど、可能な限り柔軟に対応している。			・ていねいにサービスに取り組んでおられる様子に感心すると同時に多くの負担も生じるのではないかと察していますが大丈夫でしょうか？
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	市役所・地域包括・まち協・医療機関などと情報の共有を図り、よりよい暮らしができるように努めている。			・コロナが落ち着いてきて、たきたきカフェ参加等の話もきく。利用者の好きなこと得意なことうまくつないで外部とつながろうとされていると感じる。
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医は法人内の医師であり、入居時に同意を得ている。月2回の往診や必要に応じて外来受診をしている。			・一人ひとりの利用者の健康状態を家族のように把握されていると感じた。
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ほとんどの場合が法人内の病院となっている。主治医や看護師との連携が円滑に行えている。		A. 十分にできている(5) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・主治医が法人外であっても、適切な医療、退院支援ができるように取り組んでいただきたい。

23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居時に終末期について説明をして意向確認をしている。状態に変化があった場合、本人や家族を中心にチームで相談し方針を決めている。		A. 十分にできている(5) B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・利用者さんにとって最期まで居たいと思われるホームであるといいですね。 ・家族の方との関係性を見るに十分に共有されていると推察する。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	介護事業所指針やBCPに沿って対応できるように研修や訓練をしている。今年度は消防署によるAED研修を開催した			・緊急の事案を報告された時、十分にできていると感じたが、訓練や研修は繰り返しされることを望む。
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	定期的な訓練や研修を実施している。地域の防災訓練に参加、運営推進会議で災害についても話している。また、法人内での協力体制も整備している。	・地域の防災訓練にはどのように参加されているのか？→事業所として情報収集すると同時に地域からの案内があれば参加します。	A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今後も継続して訓練や研修に取り組んでいただきたい。 ・運営推進会議で災害についての話があがっていて、対策をされているとわかった。最近是想定できない災害が考えられますね。引き続き、日頃の訓練が大切です。 ・地域の防災訓練に参加されたのはよいことだと思う。そうして地域連携を築いておられることに敬意を表する。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ひとりひとりに適した関わりや言葉かけをすることで安心できる人間関係を構築している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・業務に追われると、つい相手の自尊心を傷つける言葉を発する可能性もあるので、常に意識して言葉かけしてください。 ・利用者さんとの関係性の良さや人格を尊重されている様子は施設の雰囲気や広報、運営推進会議の話題からも感じた。
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	起床就寝は入居者のペースを優先している。体操や余暇時間、音楽療法など、本人の希望に沿った支援をしている。			・入浴時間を利用者の生活を考えて設定されている話を聞いた。健康や心の状況をつかんで対応されていると思う。
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	できることを見極め、買物・調理・片付けをしている。菜園の野菜を活用すること、一緒におやつを作るなどは好評。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者それぞれに合ったケアを継続して取り組んでください。 ・食べるだけでなく、作るから片付けまで一連の流れの中で食事が楽しめるのは生活感があっていいですね。 ・入居者のペースに合わせて食事されている姿を見ることもある。 ・女性でも農業をされてきた方などは栽培、調理を楽しんでおられると思う。
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	年2回の管理栄養士による栄養評価を受けることで、バランスを考えた献立や調理をしている。また、食事形態、体重の増減、既往歴に配慮して支援している。			・実際の調理、献立は分からないが、高齢の方に応じたものであると同時に食を楽しむ、かみごたえや食感、盛り付けであってほしい。

30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	口腔ケアも自立支援と捉え、毎食後に実施。歯科医の往診が月1回、衛生士の口腔ケアが週1回ある。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・家でしている以上にいい口腔ケアを促されていると感じる。 ・手厚く対応されていて良いと思います。
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	排泄チャートを活用して排泄パターンを把握して支援している。できる動作は自身で行ってもらうように配慮している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・自尊心が損なうことがないように、言葉かけ、ケアの方法に注意しながら、取り組んでいただきたい。 ・排泄の自立は利用者の自尊心を守る上でも大切だと思います。 ・尊厳を大切にしながらケアされている。施設は清潔で利用者の清潔さも保たれている。
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り希望に沿えるように支援している。午後の夕食までに入浴して一日の疲れを癒してもらうようにしている。状態に応じて特殊浴での入浴もしている。			・すべてを利用者の希望に合わせるのは難しいですが、コミュニケーションを取られ、一番納得して頂ける形で入浴をできればよいと思います。 ・職員の動きの都合より利用者の健康、心のケアを尊重されていると感じる。
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	健康に影響が出ない範囲で本人の意向を尊重している。室温や照明、寝具なども個人に応じた支援をしている。			・個々の部屋での過ごし方をよくみて適宜声かけしたり見守っておられる話を聞く。
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬を理解し症状の変化に応じて、主治医・看護師に報告をして指示を受けている。処方せんはいつでも確認できるように管理している。		A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(2) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・入居者それぞれ薬が違い、内服薬を理解するのも大変だと思いますが、間違いのないよう取り組んでいただきたい。 ・薬の数も多いでしょうから理解することも大変かと思います。 ・主治医と連携されて一人ひとりの利用者の状況に応じてケアされていると感じる。
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除・洗濯・調理・菜園・作業などを無理のない範囲でもらっている。職員は感謝の気持ちを本人に伝えるように徹底している。			・役割を持ち、感謝されるのは生きていく上で大切なことですね。 ・通信や施設内の掲示などで楽しく活動されている様子が伝わるし、利用者も見て振り返っておられる姿を見た。
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ感染状況を見極め、本人や家族の希望に沿った外出ができるようになってきた。			・コロナが5類になってから、たきたきカフェに参加したり徐々に外出をされている。今後も感染状況をみながら地域の方と交流できることを望む。 ・コロナ等の感染症の流行を気にかけて、外出による刺激、楽しみも叶えたいと模索され運営推進会議でも話題になった。

37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	預かり金は事業所でしている。可能な限り支払いができるように支援している。家族に了承を得てから本人に所持してもらうこともある。			・お金を所持できることも生活の満足度を高める上で大切ですね。 ・個々の尊厳を尊重する取り組みかと思う。状況に応じ困難もあると思うが、できる限り継続してほしい。
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自由に電話や手紙のやり取りができるように支援している。個人情報取り扱いについては入居時に確認をしている。			・これまでの交流が継続できることは素晴らしいことですね。 ・運営推進会議の報告で利用者が外部と交流する話を聞く。ていねいに利用者の気持ちに寄り添って取り組まれている。
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	個々に応じた安全配慮に努めている。本棚には書籍や雑誌、季節感のある作品、分かりやすいカレンダー、地域住民からの風景写真の寄贈などで工夫している。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・今後も同取組に努めていただきたい。 ・施設内は穏やかであたたかい雰囲気があると感じる。運営推進会議は GH 内で開催され雰囲気が感じやすい。また、施設内も清潔であると感じます。 ・空調で管理された屋内で過ごすことが多いですから作品等で季節を感じて頂くことは大切ですね。・年に数回しか施設に行けませんが、毎回、季節にふさわしい制作物が飾られており、そこで利用者がくつろぐ姿も見られる。
IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	外出や自宅への帰省は徐々に再開している。ホームでの暮らしにおいては、可能な限り意向に沿うようにしている。			「帰りたい」と訴える利用者さんをなだめながら施設で充実した生活ができるよう心を砕いておられる話を聞いた。よく取り組まれていると思う。
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	適切に情報を把握して希望に沿ったケア・支援ができるようにしている。本人、家族にも支援について意向確認をしている。			一人一人の利用者の生活スタイルが個室によってある程度守られていると感じる。支援方針もよく相談されている。
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	主治医・看護師・歯科医・歯科衛生士・リハビリスタッフ・ケアマネージャーと共同してケア・支援をしている。		A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(2) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・連携することで、日々の変化に合ったケアができるので、今後も同取組に努めていただきたい。 ・できる限り利用者が理解されるように声かけされている姿を見かけた。困難もあると思うが続けてほしい。
43	生活の継続性	本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	就寝起床時間、夜間の照明、テレビをつけて寝る、日々の更衣、洗顔に化粧など個々に応じて支援している。			・自由に利用者が自分のペースで過ごしたり、利用者同士や職員と話す姿も見られ、よい雰囲気であった。

44		本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	自宅で使用していた家具な家族の写真、思い出の品を持参されている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・安全面に配慮しながら、今後も取り組んでいただきたい。 ・本人がどれくらい満足されているが不明だが、好きな服や物を自室で楽しんでいる様子が見られた。
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	新型コロナ感染リスクを見極め、徐々に散歩、ドライブ、買物を再開している。	・ドライブなどの行先の決定は利用者の意見も反映されていますか？→入居者に意向を聞いてから出かけています。うまく伝えることができない方には、馴染みのある地域へ出かけます。		・出かけるならば、どんな所ならば安全に楽しめるか、屋外のお花見など少しずつ進めておられると思う。
46	本人が持つ力の活用	本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員は入居者ができることを見極め、日常生活の中で発揮できるように支援している。不安になる前に対応できるように努めている。			・役割、楽しみを持つことで認知症の進行が抑えられるといいですね。 ・制作、農耕や栽培、調理など「出番」として活動されていると聞く。やりがい、生きがいにつながると感じた。

47		本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	掃除・洗濯・調理・菜園・作業などを無理のない範囲でもらっている。		A. 十分にできている(4) B. ほぼできている(1) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・人それぞれの状況を見極めながら、今後も支援していただきたい。 ・広報の活動の写真や記事を見る限り、楽しんで活動に参加されている様子がうかがえる。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	買物や認知症カフェへの参加を再開している。また、地域の人々が来られた際はホームでも交流ができています。今後、より一層充実させたい。			・施設に伺った時に、職員の方があいさつされ、利用者にも声をかけられ、つないでもらったことから、その姿勢が感じられた。
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	暮らしの中では職員や入居者同士のつながり、医療、歯科、リハビリ、栄養、音楽療法のサポートによって安心した暮らしを送っていただけるようにしている。友人とのつながりや外出を再開している。今後も個人に応じた柔軟なサービス提供を継続したい。		A. 十分にできている(3) B. ほぼできている(2) C. あまりできていない D. ほとんどできていない	・地域のつながりを大切にしながら、自立した生活を送れるよう、個々に合った対応やケアをお願いします。 ・自施設だけでなく、その他のサービスと協力してサポートされていて良いと思います。また、友人等、古くからのつながりが切れることなく過ごされているのは良いですね。 ・利用者、家族の満足されている様子から、充実したサービスに取り組んでおられる様子が伝わる。職員が効率重視になりすぎず取り組んでおられることに敬意を表する。 ・運営推進会議の中で、市や医療、地元の方からも情報を得ながら、外出、イベント、安全、地域連携など多彩な内容で話し合いがされ、委員としても学びになっています。